

AI時代に新しい読者や仕事と出会うための仕組みを導入 noteのクリエイターページを案内ファイル「llms.txt」に対応

note

AI時代に、新しい読者や仕事との出会いを クリエイターページを、llms.txtに対応

noteは、生成AIが情報を読み取るための案内ファイル「llms.txt」に対応しました。特定の人や活動について、AIがWebやSNSを情報源として「調べて紹介する」場面が増えています。クリエイターの活動が事実に沿って正しく伝わり、新しい読者や仕事と出会うきっかけを広げることを目指します。

【llms.txtとは】いわば「AIのための、サイトの案内ファイル」です。ChatGPTなどの生成AIに向けて、ページの内容を読み取りやすく整えておくための仕組みです。通常のHTMLページにある不要な構造を読まずに、必要な情報へ直接アクセスできます。これにより、事実と異なる内容の生成（ハルシネーション）を抑えたり、処理するデータ量（トークン）を節約したりする効果が期待できます。AIに学習させるためではなく、AIが質問に答えるときに正しく参照してもらうためのものです。

なぜ取り組むのか

AIは、人や商品・作品を探す入口になりつつあります。noteは国内最大級のメディアプラットフォームとして、クリエイター本人の一次情報をAIに正しく届けるための仕組みを整えました。たとえば「発酵食品に詳しいひとはだれ？」「おもしろいエッセイストを知りたい」。そんなとき、noteで発信してきた活動がAIに正しく拾われれば、クリエイターは新しい読者や仕事の機会に出会いやすくなります。

そのための土台が、正確な公開情報です。情報が整理されていないと、AIが事実と異なる人物像を生成してしまう（ハルシネーション）こともあります。noteはいま、日本におけるAI検索で引用するドメインで、YouTubeに次ぐ2位です（[Ahrefs調べ、2026年7月2日公開](#)）。すでにAIから多く参照されているこの強みを土台に、AIエージェントの時代を見すえて、ク

リエイターの活動がより正確に読み取られるための基盤を、いち早く整えていきます。
llms.txtは、その最初の一步です。

なにが対象になるのか

noteはクリエイターページで公開されている情報を、AIが理解しやすいように構造化し、llms.txtとして提供します。対象となるのは、プロフィールやSNSリンクなどの基本情報です。記事の本文は含みません。なお、llms.txtはAIに参照してもらうためのもので、AIの学習とは別の仕組みです。AIの学習を望まない設定をしているクリエイター（*）は、その意向を尊重し、llms.txtの対応はいたしません。

*note、AI学習に関する意向表明機能を追加 <https://note.jp/n/nd2cbab756915>（2025年2月発表）

CSO・深津貴之 コメント

生成AIによる引用や紹介は、今後のメディアやマーケティングにおける重要なテーマになると考えています。情報の入り口が検索からAIへと広がるなか、AIが著者本人の一次情報にたどり着けることが重要です。

noteには、クリエイターの一次情報や一次体験が日々蓄積されています。今回のllms.txt対応を起点に、信頼できる著者情報や作品の背景を、AIが参照しやすい形で整備していきます。将来的には、クリエイターの意思を尊重しながら、本人確認済みの情報や専門性を示す情報なども、AIに適切に伝えられる仕組みを検討していきたいと考えています。

まだ業界標準が定まっていない領域だからこそ、noteが率先して挑戦し、AI時代におけるクリエイターと情報のよりよい関係を提案していきます。

note

noteはクリエイターが文章や画像、音声、動画を投稿して、ユーザーがそのコンテンツを楽しんで応援できるメディアプラットフォームです。だれもが創作を楽しんで続けられるよう、安心できる雰囲気や、多様性を大切にしています。個人も法人も混ざり合って、好きなものを見つけたり、おもしろい人に出会えたりするチャンスが広がっています。2014年4月にサービスを開始し、約8209万件の作品が誕生。会員数は1248万人（2026年5月末時点）に達しています。

- URL： <https://note.com/>
- iOSアプリ： <https://itunes.apple.com/jp/app/note-noto/id906581110>
- Androidアプリ： <https://play.google.com/store/apps/details?id=mu.note>

note株式会社

わたしたちは「だれもが創作をはじめ、続けられるようにする」をミッションに、表現と創作の仕組みづくりをしています。メディアプラットフォームnoteは、クリエイターのあらゆる創作活動を支援しています。クリエイターが思い思いのコンテンツを発表したり、メンバーシップでファンや仲間からの支援を受けたり、ストアでお店やブランドオーナーが商品を紹介したり、note proを活用して法人や団体が情報発信をしたりしています。

所在地：〒102-0083 東京都千代田区麹町6-6-2 設立日：2011年12月8日

代表取締役CEO：加藤貞顕 コーポレートサイト：<https://note.jp>

【本件に関するお問い合わせ先】

note株式会社 IRお問い合わせ窓口：<https://ir.note.jp/inquiry>